

松井ヶ丘通信



京田辺市立松井ヶ丘小学校
冬休み号
令和7年12月23日(火)

京田辺市大住上西野18-2
Tel: 0774-62-8888 Fax: 65-5377
<https://www.kyotanabe.ed.jp/nc3/matuigaoka-es/>

“夢と希望をもって輝く”松井っ子
(ま)「学(まな)ぶ子」
(つ)「つながる子」
(い)「たくましい子」



挑戦が未来につながる

校長 草野 謙太郎

冬の冷たい空気が校庭に広がり、季節の移ろいを感じる頃となりました。子どもたちが登校時に吐く白い息にも、冬の深まりと年末の訪れを感じます。令和7年も残りわずかとなりました。保護者の皆さま、地域の皆さまには、日頃より本校の教育活動に温かいご理解とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

先日、体操女子日本代表の杉原愛子選手が来校され、「夢をもつことの大切さ」について、お話をいただきました。「夢の大きさに大小はない」「一度立ち止まってもいい」「挑戦の勇気が未来を変える」「花が咲く時期は人それぞれ違う」など、6年生の心に残るお話でした。



子どもたちにも、ときにはうまくいかず、悔しい思いや迷いを抱えた瞬間もあったことでしょう。

しかし、その経験こそが次への意欲を生み、子どもたちを一回り大きくしてくれます。できたことだけでなく、挑戦したこと、続けたことにも価値がある——その思いを胸に、子どもたちの歩みをこれからも見守っていきたいと思います。

さて、冬休みを迎えます。まずは、今年一年頑張った自分をぜひほめてあげてください。そして、家族と過ごす時間の中で、一年を振り返り、新しい年への力を蓄える期間にしていだければと思います。

同時に、生活リズムや健康、安全に関しても意識して過ごしてほしいところです。夜更かしの習慣や、インターネット・動画視聴の長時間利用などは、心身の不調やトラブルの原因にもなります。ぜひご家庭で声掛けや約束づくりにご協力ください。

新しい年が、子どもたち一人ひとりにとって、笑顔と成長に満ちた一年となりますように。三学期、元気いっぱい姿で子どもたちが登校することを心待ちにしています。

どうぞ良いお年をお迎えください。



指導に生かす「標準学力調査」の実施

京田辺市では、1・2学期の学習内容の理解度を知り、今後の学習に生かすため、学力調査を実施しています。今年度も全学年を対象に1月13日(火)、14日(水)の両日に行います。あゆみ等の成績には関係しませんが、実施後に結果の個人票をお渡ししますので、ぜひ活用ください。この冬休みに、今まで学習したことをしっかり復習しておいてください。



冬季休業中の電話連絡について



対応時間は下のとおりです(時間外は音声ガイダンスが流れます)。12月15日付けメール配信のとおり、年末年始をはさんで「学校閉校日」となりますので、ご注意ください。
なお、児童の生命や安全に関わる事態などが発生し、緊急に学校へ連絡が必要になった場合は、

【京田辺市教育委員会教育総務室 0774-64-1391】

までご連絡ください。

冬休みの約束

冬休みは、クリスマスや大晦日、お正月など、子どもたちが楽しみにしている行事がたくさんあります。冬休み中、子どもたちが家族の一員として家の仕事をしたり、団楽を楽しんだりして、年末年始を有意義に過ごせますようお願いいたします。学校では、

「健康と安全に気をつけて、丈夫な体づくりをしよう」

「冬休みだからできる勉強をしよう」

「規則正しい生活を送ろう」



の3つの柱で冬休みの生活について学級指導を行っています。各クラスで配付しました「冬休みの約束」のプリントをご家庭でも見ていただき、「イカのおすし」等の合言葉も含め、「命の大切さ」についてご指導いただき、安全へのご配慮をよろしくお願いいたします。

12月	24日(水)	8時30分～17時
	25日(木)	
	26日(金)	
	27日(土)	週休日
	28日(日)	
	29日(月)	学校閉校日
30日(火)		
31日(水)		

1月	1日(木)	学校閉校日
	2日(金)	
	3日(土)	週休日
	4日(日)	
	5日(月)	8時30分～17時
	6日(火)	

3学期の始業式

1月7日(水) 通常の集団登校
短縮3校時
下校時刻 〇〇頃

《持ち物》

冬休みの課題や作品、上靴、筆記用具、連絡帳、雑巾 など

※詳細は、各学年の「学年だより」でご確認ください。

◆◆◆3学期の主な行事◆◆◆

- | | |
|--|-------------------------------|
| 1月8日(木) 短縮A校時【4校時】
給食開始 | 3月10日(火)～学期末5校時 |
| 1月14日(水) 書き初め展(16日まで) | 3月11日(水) 地域仲よし会 |
| 1月20日(火) 体験入学・入学説明会 | 3月18日(水) 給食終了
卒業式前日準備 |
| 1月31日(土) 地域委員選出会 | ※1～4・6年生 〇〇下校予定
5年生 〇〇下校予定 |
| 2月10日(火) 授業参観 | 3月19日(木) 卒業証書授与式(4～6年のみ登校) |
| 2月18日(水) 3年生クラブ見学
※3年生は見学のため、〇〇下校予定 | 3月23日(月) 短縮3校時 |
| 2月19日(木) 卒業を祝う会 | 3月24日(火) 修了式、短縮3校時 |



男子100m走 山縣 亮太 選手 来校!

12月15日(月)、山縣亮太選手【セイコーグループ(株)】にお越しいただきました。2年生には2時間を使って実技指導をしていただき、最後には山縣選手と代表児童が競走。大変貴重な経験をする事ができました。5時間目は、全校児童に向けてインタビュー形式での講演会。35分という短い時間ではありましたが、ご自身の経験をもとに、子どもたちへたくさんのメッセージを送っていただきました。「昨日の自分より、今日の自分。一つずつ積み上げていってください。」という言葉が子どもたちや教職員の心に残りました。校舎に戻っていく子どもたちにも「バイバイ!頑張っ!」と声をかけてくださいました。

山縣選手、ありがとうございました!児童・教職員一同、今後のご活躍を祈念しています。



~6年生校外学習~

12月5日(金)に6年生は、校外学習で京都市内へ行きました。この校外学習に向けて、5つの寺や城などの中から自分達が見学したい場所をグループで話し合い、行先を決めました。

当日は、自分達が調べた情報をもとに、バスや電車を使って見学先を回りました。集合場所に戻ってきた子ども達は、「バス乗り場がたくさんあって難しかった。」「予定より早く着いたので、1本早い電車に乗ってみました。」

と、不安になりながらも班で協力し、頑張って活動した様子を教えてくれました。子ども達にとってよい経験になったと思います。



人権学習について

12月4日からの人権週間に先立って、本校では、11月25日(火)から28日(金)に、各学級で身近な人権問題について考えました。そして、それぞれの学級で学んだことを給食の時間に放送で発表し、みんなで学びを共有しました。

すみれ学級 「ともだちのお宝発見隊」

すみれ学級では、友達一人一人のお宝(すてきなところ)をカードに書いて、お宝ずかんをつくりました。自分では気付かなかったすてきなところを、友達から教えてもらい、嬉しいような恥ずかしいような温かい気持ちになりました。自分のお宝を再発見できた時間になりました。



1年生 「自己紹介すごろく」

自分や友達のことをもっとよく知るために、「自分の自慢できることを教えて?」「学校で一番好きな場所はどこ?」など、すごろくのマス目を書いてあるお題に答えました。

同じお題でも答えはそれぞれ違ったり、同じだったりすることから、友達の意外な一面や、自分の新たな一面に気付くことができました。



2年生 「文字でおはなししよう」

「今日、二重跳びが跳べるようになったよ。」という手紙に対して、「すごいね!練習を頑張ったんだね。」と「私は、とっくにできているよ。」のどちらの返事が届くと嬉しいか考えました。

手紙は、文字でのやりとりとなるため、書いているときやもらったときのお互いの顔や表情を見ることができません。そのため、普段の会話以上に相手の気持ちを考えることが大切だと学びました。

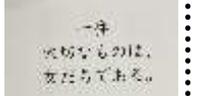


人権週間は終わりましたが、今回の学習で学んだことを忘れずに、普段の生活の中でも自分の言動や行動を振り返りながら、「自分」も「友達」も大切にしてお過ごししてほしいと思います。

3年生 「四つの部屋」

「小学生は外で遊ぶのが好きだ」「一番大切なものは友達である」などの問いに対して、自分は4つ(「そう思う」「どちらかといえばそう思う」「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」)のどの立場が考えました。

理由を交流することで、考え方は人それぞれであることに気づき、互いを尊重し合うためには、決めつけや意見の押し付けはよくないということを学びました。



4年生 「ちがいのちがいがい」

それぞれの国の言語や文化などの「あってもよい違い」と、誰かが傷つてしまうような「あってはいけない違い」について考えました。

子どもたちからは、「見た目で決めてはいけない。」「相手の気持ちを考えたい。」といった意見が出されました。そのような理想の世界にしていけるためには、互いの個性や文化を尊重し合うことが大切であると学びました。



5年生 「ざる」

他人とは明らかに違う扱いを受ける村の人々の置かれている状況や心情、行動を通して、「自分を差別した相手を助けるべきなのか」「どうすれば世の中から差別がなくなるのか」ということについて考えました。

友達との交流の中で、「間違っている」「おかしい」と思うだけではなく、声を上げて正しい行動をしていかなければ差別はなくなると考えを深めていました。



6年生 「みんなにあたりまえの幸せを一世界人権宣言」

江戸時代の身分制度が現代でも残されていて、出身地が江戸時代に差別されていた人々が住んでいたというだけで、友達や先生から差別を受けていたことを知りました。さらに、ひどい差別を受けた人々が勇気を持って立ち上げた全国水平社という団体が設立されたことを学習しました。

「人の世に熱あれ 人間に光あれ」山田孝野次郎さんの設立演説の時に述べられた言葉について、熱や光に込められた思いを考え、クラスやこれからの私たちにできることを考えました。



例年、年賀状の書き損じはがきを学校で回収しておりましたが、デジタル化も進み、回収する枚数も減っておりますので、書き損じはがきの回収は行いません。よろしくお願いいたします。

